



Web再録版





お寺の膝丸と神社の髭切、  
現代を生きる付喪神がお付き合いしている  
ヘンテコ現ハロです。

**この物語はフィクションです。  
実在の人物・団体とは一切関係ありません。**



—二〇一六年冬

京都……

ん……

兄者……

っ……あ、

兄者あ

早……









なら  
忘れられない夜にして  
あげる



ふっふっ...



拗ねてなど...!

あっ  
ふっふっ...



…頑<sup>かたく</sup>なだね



それとも  
いららないかな?

……  
言わせ  
ないでくれ……



はあ  
しっ

は  
しっ





可愛いよ

アッ...あ...あ...ア

レレ

知ゆ深

ア?

このまま  
解いてしまえば  
いいのに



我々兄弟の  
生まれは千年前、

源氏の  
天下守護のため

武神の加護を得て  
打たれた双剣の  
付喪神である





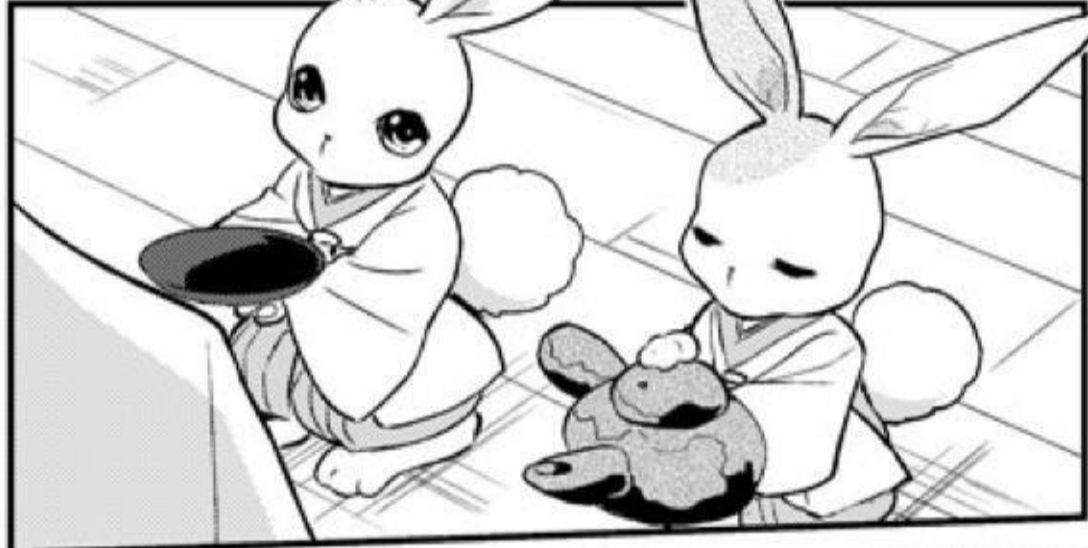
とは言葉  
住まいが違うので

こうして逢引するしか  
ないのだが…



千年のうちの  
ほとんどは  
離ればなれだったが

今は縁あってこの  
京の都で共にある



昔の良かった  
頃を思い出すよ



お前のところは  
好きだよ



おや  
ありがとう

ト  
ロ  
ロ





しよほ  
くれてなど……!

おん  
おん



あ、りゃ？  
また  
しよほ  
くれた  
いる  
のか  
い？



……

ハ  
ハ  
……



……  
っ

サ  
ラ  
……

いい  
いい  
いい  
……  
神官が驚いて  
しまったよ



蝉が落ちる  
頃と聞いたぞ  
今は歳の瀬だぞ

すぐに  
戻ってくるよ

……明日東へ  
発たれてしまう  
のだな



きゅ  
きゅ  
……







……  
もう源氏の世じゃ  
ないけれど

遠くで、  
僕を待つてる  
人たちがいる



ワス……



日の国の歴史  
そのものである  
僕たちの

姿を  
伝えることが

今の僕たちの  
勤めだもの



……わかっている

千年の歴史を持ち

尚も美しい兄者を  
一目見たい者は  
多かろう……

平成二十九年 (2027年) 髭切東京にて展示





困らせたい  
わけではないの  
だけ

すまぬ



少し離れがたい  
だけなのだけ



だが貴方のために  
打たれた刀身  
この



今は好き  
なだけ  
ひっついて  
いてよ



あ、兄者…



うんうん  
わかって  
いるよ





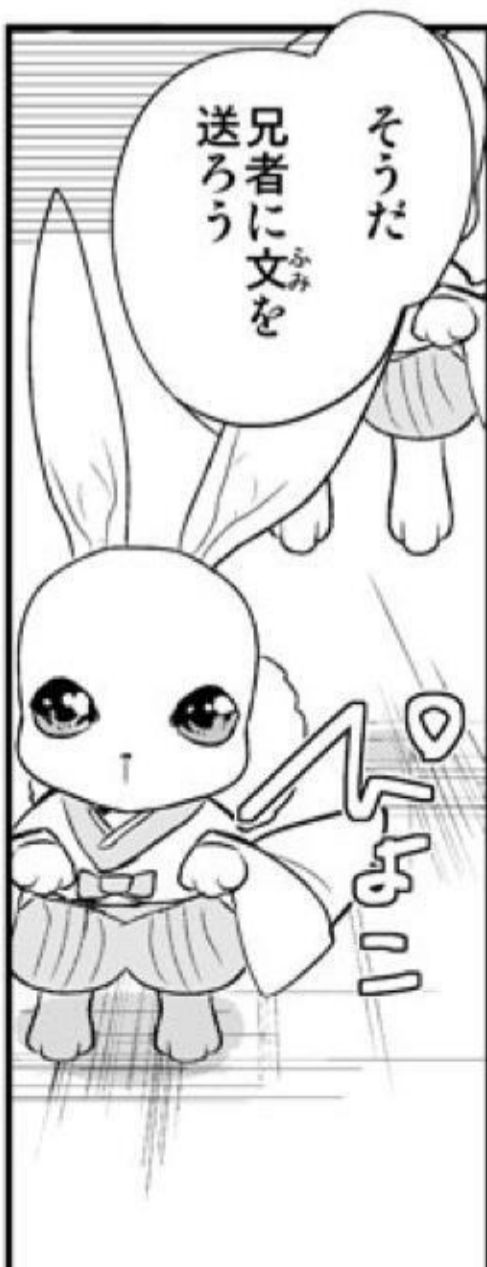
俺は  
体の半分を







兄者は  
平気なのだろうか？



そうだ  
兄者に文を  
送ろう



兄者が  
おらぬ間  
京を  
守らねばな



だが……  
しよげていては  
源氏の名が廃る！





千の年月を  
思えば

来年の秋など  
すぐだ



お前たちも  
手伝って  
くれるな？

びん  
おん



京も兄者が居らぬので  
寂しいのやもしれぬな

息災であるか  
こちらはなんと雪が積もつたぞ  
何日も解けぬのは何十年ぶりに  
なるだろうか



兄者  
ご無事に着いたか





兄者に  
お見せできぬのが  
惜しい



京の都は  
一段と澄んで美しい



俺も兄者の暗れ姿を  
一目拝見したいぞ  
今すぐ飛んで行きたいぞ



兄者の御出番も  
いよいよとあらば  
お忙しくお過ごしのことだろう

兄者  
新年のお慶び申し上げる



兄者  
こちら京の都でも催しが始まったぞ  
こちら何かと忙しく過ごしている

兄者の宮も  
学業に励む参拝者で  
溢れてにぎやかだ

ところでそちらでは  
おにきりやすつな  
鬼切安綱の名とされていると  
耳にした



さすがに兄者も  
昔のことを  
思い出すのではないか？

他に顔馴染みの  
刀剣はおるのか？







そちらが  
よくなつたりは  
しないだろうか

…双剣の鬼丸を  
思い出しては  
いないだろうか

兄者が鬼切の名で  
両手に振られた双剣…

ピョ  
7



会いたいぞ

兄者…



このように珍しいものに  
立ち会わせるとは  
果報なり

俺も一目見んと  
寺を抜け出してしまった



兄者の梅の御宮では今  
なんと兄者の白鞘が  
お目見えなのだ

—兄者

白鞘：無加工の木でできた鞘  
刀剣の穂先を収めるためのもの

重要文化





だが兄者の居らぬ  
宝物庫は  
うら寂しくもあり…

一層兄者に  
会いたくなくて  
しまった

—兄者

兄者の宮には  
気の早い梅が  
ほころび始めたぞ

毎年見事な  
梅だからな

いずれ文にも  
香りが移るやもしれぬ  
今年は兄者と  
見れぬのが残念だ







…なに、  
来年また咲くだろう



ふ…

甘春庵の菓子  
頬張る兄者を…

今年は…  
見れぬのか…



うん、  
とつても良く  
してもらって  
いるよ



—兄者  
そちらの  
暮らしには  
不自由ないだろうか

サ

サ  
ラ





三振りで  
鬼退治の話で  
盛り上がって  
しまってたね



兄者!?

ガッ

こっちで  
昔なじみの鬼丸と  
童子切に会ったよ



そ…  
そうか……



昔のことを  
色々思い出して  
しまったよ





童子切安綱とは  
刀工が同じ  
兄弟だったね

ド  
ト  
ク  
ン  
...



ドク  
ン  
そ、それで...?



鬼丸とは  
右手と左手、  
同時に振られた  
双剣だった

ドク  
ン  
ふふふ  
懐かしいなあ



ア...  
兄者...!





それとも  
いいか  
な  
って  
思  
う  
ん  
だ



また双剣しようって  
誘われちゃった

鬼丸に



だからもうしばらく  
こちらに居るね

すっ  
だから

弟…、弟の？



あれ…？

弟……？





24







—では  
兄者へ届けてくれ

俺だけが唯一  
兄者の源氏の双剣  
なのだぞ



かしこみ

承り

かしこみ

かしこみ



お返事

お返事

毎日の文

来ぬ

膝丸様に

来ぬ



膝丸様

...なんだ?  
早く行かぬか







そんな事を  
案じていたか

さあ

何も返事が  
欲しいわけでは無い

なよて



俺が勝手に  
していることだ

返事は無くとも  
兄者は読んで  
下さっている

兄者は  
お優しい  
方だから



さあ  
行ってくれ

ひょん

ひょん





そうだ、

：返事など  
なくとも

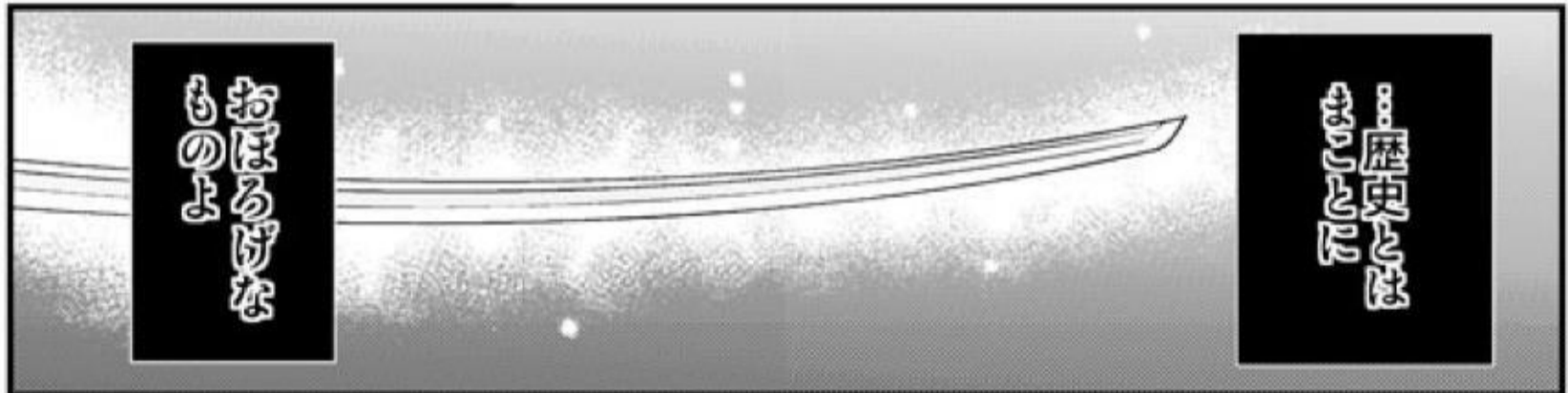
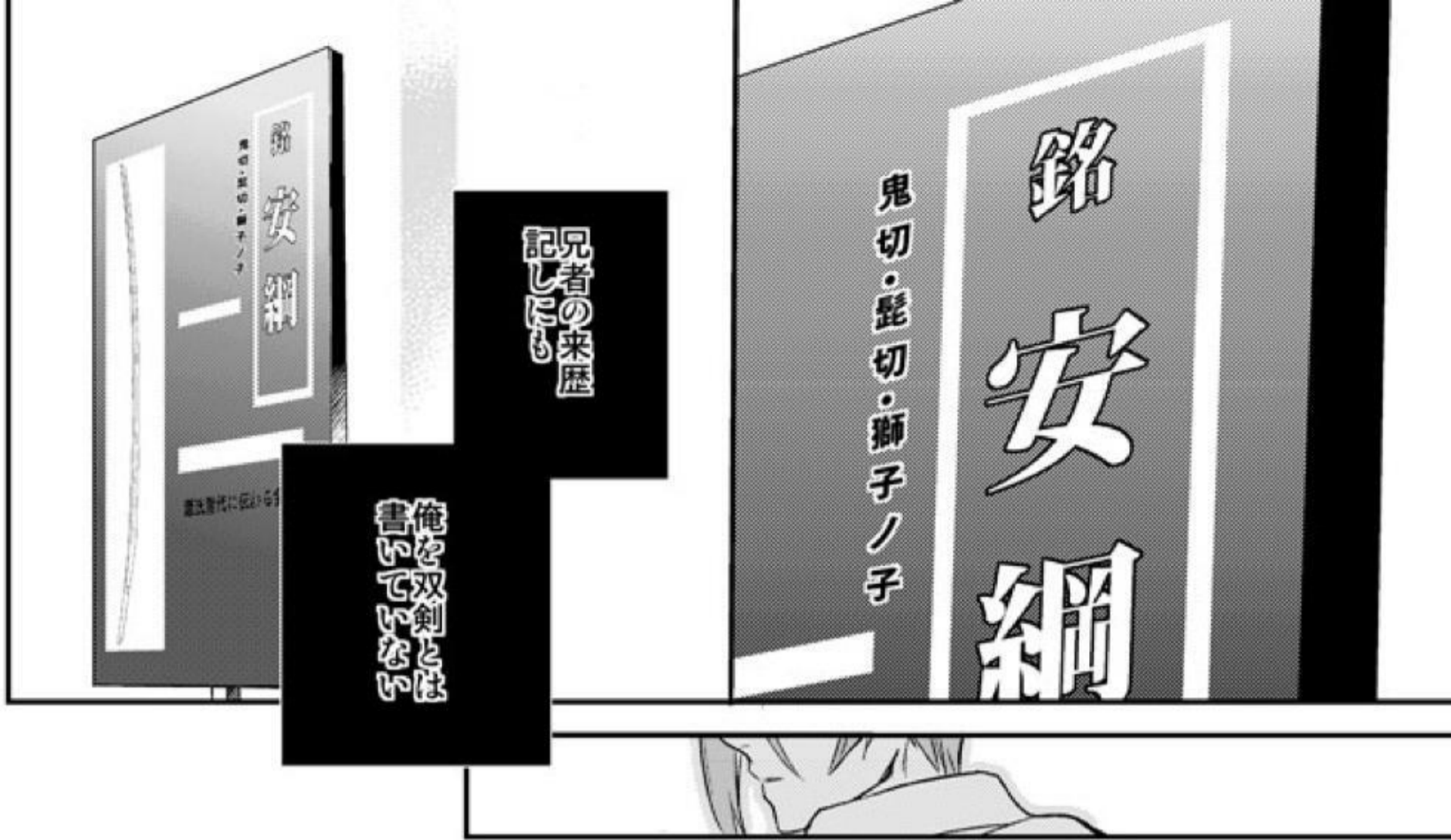
俺は兄者と同じ  
源氏縁の弟というだけで  
どんなに幸せか













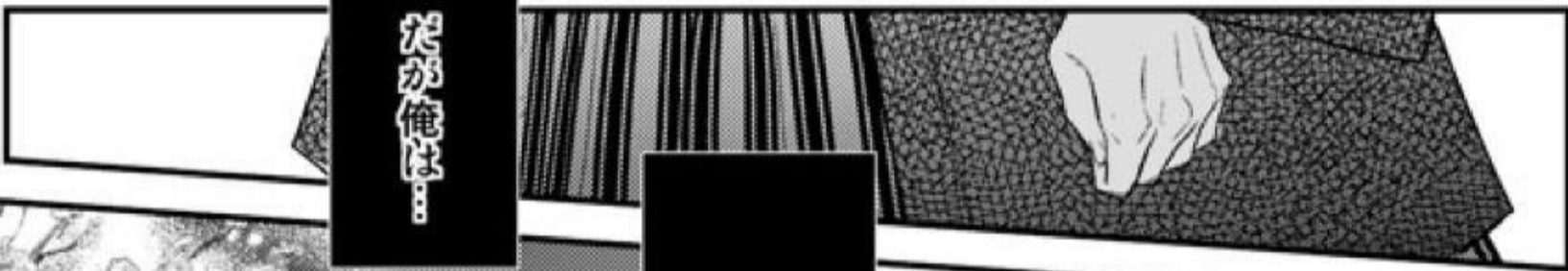


ときの  
大衆が信じるもの

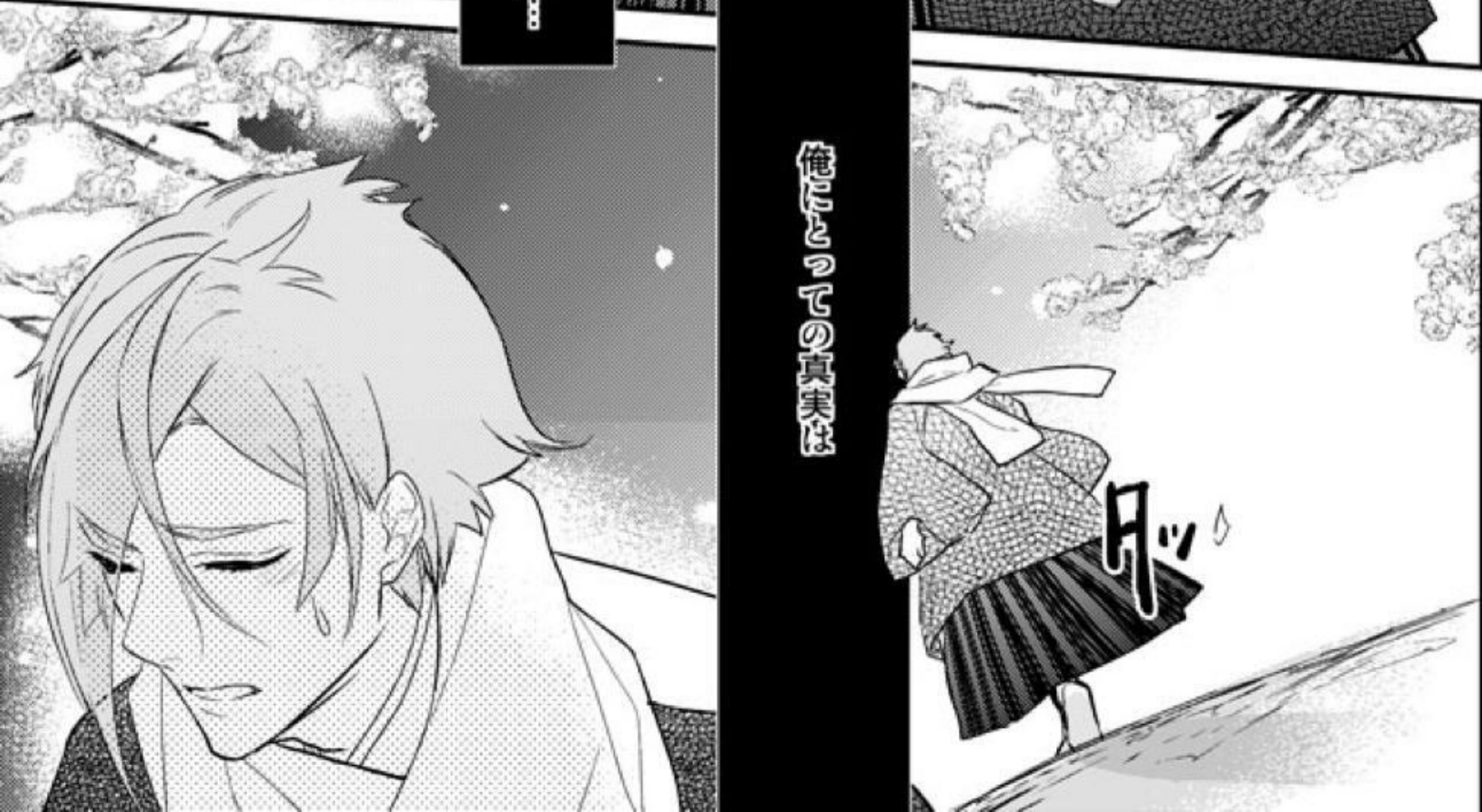
真実とは  
ときの勝者が  
語るもの



長いときを経て  
細かいことなど  
どうでも良いと  
兄者は言う



だが俺は……



俺にとっての真実は





兄者と共に  
兄者のために  
打たれた...

それが「膝丸」の  
唯一真実なのだ



千の春、  
兄者を想った

唯一無事の  
一具なのだ！



本当はひとときも  
離れたくたく  
など無い





兄者に…

兄者に…  
膝丸と呼ばれたら



いいや  
賢沢は言わん

兄者と  
呼ばせてくれ…

サアアア



兄者…

兄者…!

サアア

兄者に会いたい…







どうして  
たんだい？

ひどい  
顔だね



やっぱり  
お前だね

あは



男前が  
台無しだよ

！



これは夢か？  
俺はついに幻を  
見ているのか…？

なぜ……  
ここに…？

夢じゃないよ





秋分までは  
帰らぬと……

僕もそう思っ  
ていたのだけ  
れど

次のお勤め  
まで時間  
があるから  
一度帰る  
ことにな  
ったんだ



文<sup>かみ</sup>を  
くれたね

お前と  
宮の梅が  
観たいと  
毎日思っ  
ていたか  
ら

天に想い  
が通じて  
しまった  
のかも  
しれない  
よ





う……ん



梅が……

綺麗だろう



夢ではないのだな

はふ

ひんち



ここに二振りて来たかったんだ

は……



兄者……兄者

ハ?

ハ?



…今日は  
不謹慎って  
怒らないんだね

けいだい  
境内だぞー  
って……



ブル



会いたかった  
ずん

あふ

待てぬ…が

やはり  
不謹慎だろうか



いいんじゃない？  
マラを奉ってる  
神社もあるんだし

兄者のところは  
学業の神だろう！



……



クス…  
それだって

江戸時代  
からだし





いや、誠…

我々を繋ぐ  
歴史などというものは  
危ういものよ



…ありや？

どうか  
したのかい？



兄者の  
煌々とした  
美しさも

兄者への  
想いも変わらぬ  
のに



ときどき  
自分が時代に  
取り残されて

ぎゅ

掻き消えて  
しまふ  
気がする

何しろ俺と  
貴方を繋ぐ  
文献は少ないのでな

いつか俺を  
貴方が  
忘れる日が

俺が貴方を  
失う日が  
来るのだろうか

それが  
当たり前の  
歴史として……

はら  
はら  
初めから  
となりに  
無かったと……

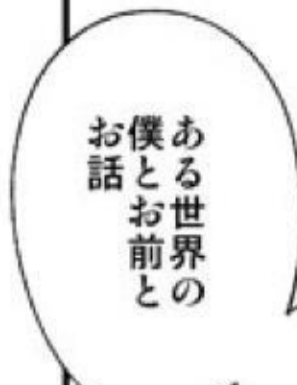
ねえ知ってる？

ある世界の  
僕とお前の話





戦で  
刀を振る  
世界、



ある世界の  
僕とお前と  
お話



僕、  
とうきょうで  
聞いたんだ



同じ本丸で  
暮らして  
いるんだ

僕とお前は  
背中合わせに  
戦って



同じ釜の  
飯を食べて

…布団？


布団を  
並べて眠って



あるときは  
畑番をして

畑番…？  
俺や兄者が？

まるで  
人ではないか



二〇〇年  
未来の話

兄者、  
そんな珍妙な  
夢物語で

慰めてくれる  
のは嬉しいが…

二〇〇年後の  
僕たちだそうだよ

真実になんて  
程遠い

まさに  
夢物語だけれど





二〇〇の春を  
お前と待つのは  
悪くないね

そんな珍妙な  
話だって  
千の春を  
越える頃には

それが真実にも  
なっているかも  
しれないよ



何しろ  
歴史なんて  
あやふやなもの  
だから

……っ



俺は兄者と共に  
二〇〇でも千でも

うんうん



待つ……

千の春を  
兄者が共にと  
言ってくれるなら…









ポル  
ポル

あつああ...



しんち

体が  
素直だねえ

しんち  
しんち



ぽ  
ぽ



普段  
の凍  
として  
いる



ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

もっと  
乱したく  
なる

ちゅ  
ちゅ



んーん

だ、あつ

駄目か!?

開きめ  
か?



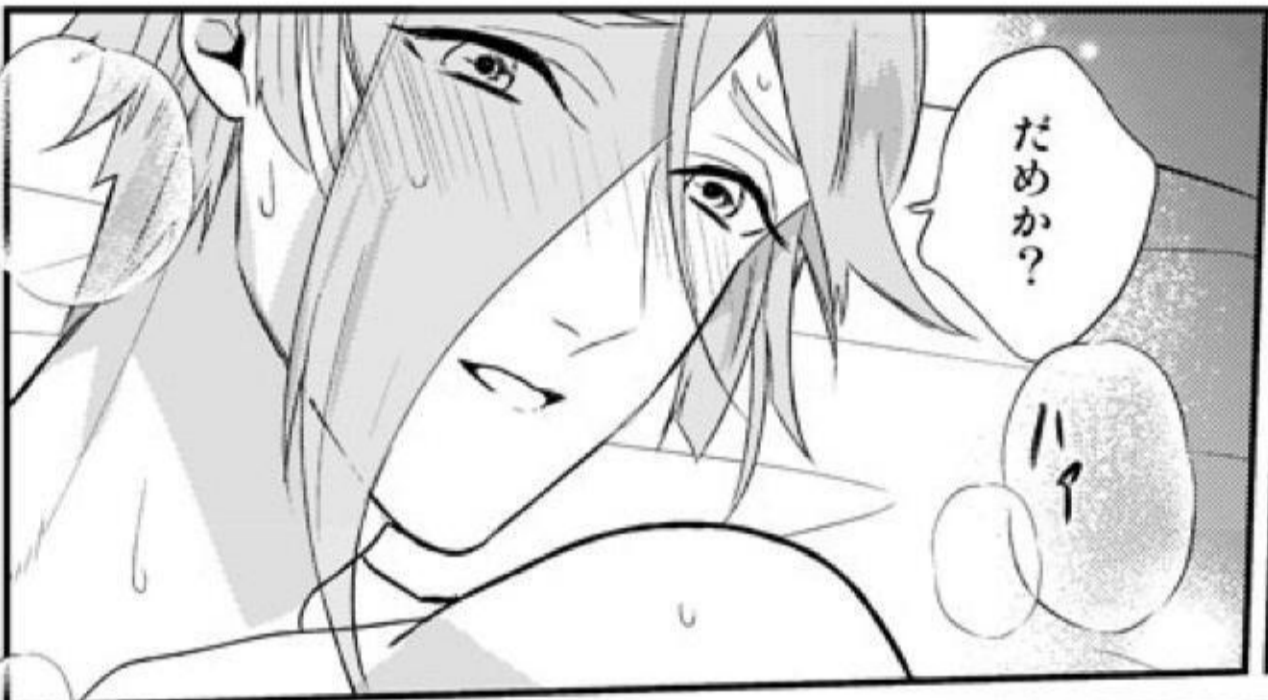


うん？

後ろは…  
兄者が見えない…  
前がいい…



後ろを向いて  
それに手をつけて



だめか？

ハ？



ビクッ

うあっ



よさこよ

？



あは  
かわいい

なっ!!











かわいいなあ...



ああ  
うねる...

あっあっ



待っ...くれ

アア  
ああっ...!!!





ア:兄者

兄者も  
ア

胎でら...  
くれ

ちゅぽ  
ちゅぽ

ちゅ  
ちゅ



もつとお前を  
味あわせて

まだだあめ♡

ん!...

ぽ  
ちゅ

あ...  
ちゅ

ちゅ

ぽ  
ちゅ



搾り  
取られそう

あ...

ぽ  
ちゅ

あやほ

だっ  
たっ  
てい  
なく  
てい

兄者……  
もうっ  
う

ありや  
後ろ  
向い  
の？

あやほ

僕も毎日お前を  
思っていた  
けれど

こんなに  
胎を熱くして

かみさま  
神刀なのに  
悪い子

だめだイク

いくから

ふふ  
いき  
続け  
てる

あやほ

あやほ

あやほ

あやほ







やりすぎ  
ちやっとな  
...?

大丈夫  
かい?

んう...



...んう...

♡♡♡♡♡



あ  
り  
や  
う  
な  
い  
ち  
や  
う

お  
お  
お  
お

.....



.....  
いいね

.....  
もっと兄者

もっと兄者と  
くっついて  
いたいぞ...



今宵はとことん  
可愛がって  
あげよう

—兄者いぞ—

兄者  
あにじやつ



普段  
お優し  
兄者の  
おし



欲にまみれた顔が  
俺は好きなのだ











きみたち  
何か嬉しそう  
だね

ありや?



やあやあ  
ありがとう

片手が  
塞がって  
いてね

ト...



よう  
おかせ  
御帰りやす

めでたい

めでたい

お返事  
ではなく

おんか  
御身が  
御帰りなされた

おかせ  
御帰りやす

ふふ  
ただいま



ねえ  
見て

ずっと  
離さないんだよ

スー...

取り残されて

掻き消えてしまう  
気がするって...





——本当は

消えて  
なくなりそうなのは  
僕の方なのに



出先で  
昔なじみの  
刀剣やらも  
訪ねてきた

知ってる  
顔やら

知らぬ  
顔やら



僕には  
無数の  
名と  
逸話がある

オニキリヤ

忘れたか?

長く生きて僕自身  
何が真実だった  
やら……



あまりに  
多くの  
生を<sup>せい</sup>生きた  
「<sup>せい</sup>髭切」……

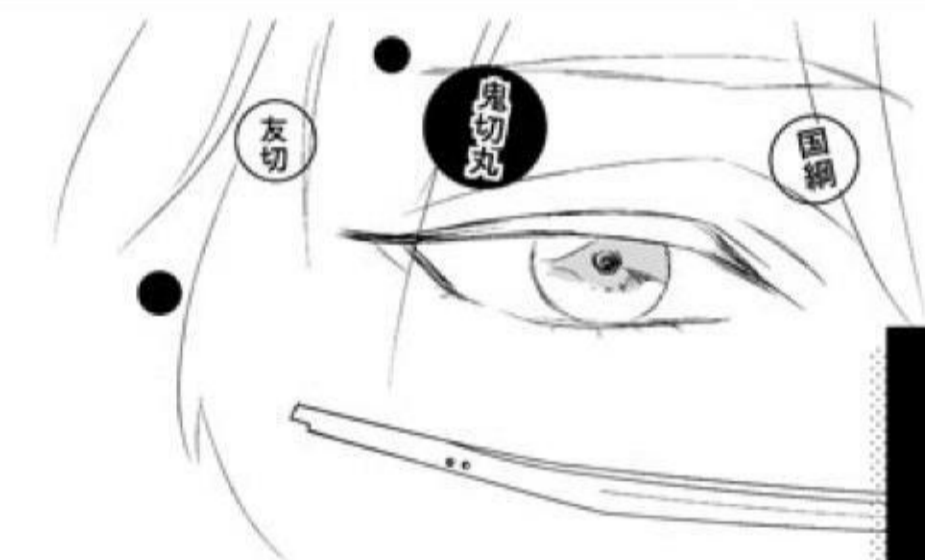


隣にあつたものは  
なんだっけ

ふいに形が  
おぼろげになる



この子を  
置き去りにしたくは  
なにの



友切

鬼切丸

国綱

鬼切

安綱

鹿切

僕の名前は  
何だっただかな



だけど毎日僕に  
文が届く









お前が居るから  
僕は、

僕を源お前氏の重兄宝の  
髭切だと思うよ

ん…



……ふ  
…起きていたか  
兄者

ああ…  
良かった  
夢ではなかった



夢では  
ないよ

ちやんと  
居るからね



願わくは

朝日も  
春めいてきた  
けれど

まだまどろんで  
おいで

うららかな春が  
あと千回

続きますように



この物語は架空のお寺と神社、架空の髭切と膝丸となっております。

しかしながら  
モデルになったお寺と神社がありまして、実際刀剣乱舞実装後、  
薄緑から膝丸表記になった刀がありまして。

某薄緑様、「俺が！！俺が膝丸なんだぞ！！兄者の！！弟なんだぞ！！」  
っていうアピールがすごい。。。

これを描いてるときに公式コラボがきてしまって本当にびっくりしました。

某お寺と神社に何度も足を運ばれた方も多いと思うのですが  
どっちも本当に素敵なお寺と神社で、特に梅の季節は格別ですね。  
「ああ、これ絶対髭膝デートしてるわ。。。」などと妄想してしまっ

ていろいろ好き勝手描きました。

モデルになった髭切さんなんて、私本当に展示で夏まで帰ってこないって  
聞いてたんですよ。  
それでひょっこり梅の季節に実際帰ってきたんですね。  
そんなの膝丸、嬉しすぎるじゃないですか。  
可愛い、可愛すぎる。描くしかなかった…。

本当に好き勝手かいてしまった本に  
ここまでお付き合いいただきありがとうございました！

感想等頂け  
るれいぞす!!

2017・03・20  
印刷:株式会社栄光  
asa@mg.sunnyday.jp

遙か彼の歌


Pixiv:701601 twitter:87ta

描いた人:ハナタ

SpecialThanks表紙デザインmijiさん@miji\_jokkmokk

無断での転載・複写・複製・転用・  
WEBへのアップロード行為  
18歳未満の方の購入・閲覧を固く禁じます。  
筆者に無断で転載された場合、相応の掲載料を  
請求する場合がございます。あらかじめご了承ください。





2018年現在、

この梅の季節はなんと髭膝一緒にパネル

展示されてるようですよ。